

## 運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

## 1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

## 2. 開催日時・場所

日時	令和 元年11月8日13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室
----	------------------------	----	----------

## 3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
松本 裕 (欠)	地域住民の代表者	中川地区民生委員児童委員協議会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫 (欠)	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章 (欠)	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
池村 明広	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学 (欠)	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
箕輪 善果	看護リーダー	
朝比奈 ゆかり	介護主任	
青柳 かおる		
後藤 瑞佳	事務	
加藤 萌子	事務	

#### 4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

#### 5. 活動状況に関する評価・意見・要望

「本人・家族の思いを支え在宅看取りができた事例」についての報告

- 1) 90代 男性 要介護5 脳血管疾患
- 2) ADL: 右片麻痺、軽度の感覚障害あり  
【食事】経口摂取可 一部介助、【排泄】膀胱留置カテーテル、排便はトイレ誘導  
【移乗】全介助 【移動】車いす全介助  
【コミュニケーション】両側高度難聴と構音障害があるため困難
- 3) 利用までの経過  
昨年、発症。自宅での療養を希望され退院と同時に看多機の利用となる。
- 4) 療養生活への希望  
本人は家にいたい、ご家族は、泊りや通いを利用しながら、仕事は継続したいの自宅で見ていきたい。
- 5) ケアプランの方向性  
●最期まで自宅療養が継続できる。
  - ・症状緩和ができる
  - ・介護者の生活を支える
- 6) 利用経過に伴う支援内容
  - ① 通所からの帰宅を遅くしてほしいというご家族からの要望に対して  
⇒日勤帯を削減し、遅番を1名増やし対応、外部送迎を事業所で依頼した
  - ② 自宅で排便がないようにコントロールしてほしいというご家族の要望に対して  
⇒排便状況の把握、連絡帳に情報収集のための表を作成し家族と情報を共有して、ご本人への負担がないように下剤でのコントロールや施設での排便ケアを行った。
  - ③ 易怒的で感情の起伏が激しく、他の利用者が怖がる。  
⇒ゆっくりと話を聞き、訴えに対応する。笑顔で接する。気分転換に移動する。
  - ④ 突然立ち上がろうとされるため転倒予防に対して  
⇒車いす: テーブルの前に座ってもらう。車いす用のベルトを使用する。  
ベッド: 低床ベッド、センサーマット、ベッドセンサー
  - ⑤ 看取りの支援について  
⇒治療や看取りについての意思確認を契約時、肺炎で状態悪化した時、眠る時間が増え食事量が減った時期の3回治療や看取りについての意思確認をした。  
⇒看取りの時に後悔がないように、状態の説明を行い自宅でも看取りの支援ができた
- 7) 支援の結果  
自宅に帰りたい、自宅での介護を希望された本人・家族の希望が実現できた

#### 6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

・病気になった時、治る見込みがないときなど、死んでしまいたいという利用者さんはいますか？ヨーロッパでは、薬を医者が投与するなど、安楽死の考え方もありますよね。本人がどうしようもないとき、社会において判断することも、これから必要になっていくのでは？  
⇒国によって安楽死が認められるところもありますが、本事例は「家に帰りたい」という意思表示だけだった。元気なうちに、自分の最後を考えておくことも必要だと思います。

・看取りの事例で、なんとなくの流れ、事業所の葛藤もよくわかる。看取り同意書も、利用者の転機ごとに何度も確認しているので、よいと思う。

・本人の思う看取り、残された家族のための看取り、丁寧な看取りができるか、自分も想像がつかない場合もある

主治医としても、家族とのやり取りで、電話で10分待てるかということ、そこまで丁寧にできるかわからない。安楽死の話、木下さんのような年代の方も考えてくれている、安楽死の土壌も、若い人ではなく、年配者も考えてくれて、日本も変わってきていると感じた。アメリカも、州で違う安楽死の考え方がある。

⇒元気なうちに、自分の最後をどうしていきたいか、地域全体で発信してもよいですね。

区で、エンディングノートも配布しているので、活用してください。

## 7. 地域からの情報提供

・防災訓練を来年の2/2都筑小学校で行う。地震体験・簡易トイレの設置・段ボール組み立て作業などで、300人くらい来るようだ。1月に案内状持ってくるので、天気がよければ出席したらどうか。

・都筑区として、「都筑備え」の活動している。地域で、備品の用意もある。また、災害時、助けが必要な人のリストがあり、ナーシングの利用者も、希望があればリストに載せることができる。本人の同意が必要になる。現在50人くらい対象希望者がいて、小さい子がいる人も、希望者全部受け入れている。利用したい人50人、ボランティアの人50人くらいかな？ 資料手元にはないので、HPで確認してください。災害時、ボランティアで参加しますという看護師さんも歓迎している。

## 8. その他特記事項

・ヘルパー資格取得にかかる助成金制度の案内、求人広告を連合町内会の掲示板で配ってくださり、ありがとうございました。まだ、反応はない。  
⇒個別に勧誘していかないと、難しい。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。  
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数( 10月 31日現在)	女性 9名	男性 5名	計 14名
------------------	-------	-------	-------

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	0名	1名	2名	4名	7名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	22	1	0	1(訪問看護回数)
イ	4	0	18	6
ウ	12	8	0	4
エ	7	0	0	5
オ	27	23	32	1
カ	31	27	6	5
キ	4	2	13	5 入院:10/15~
ク	7	0	13	4
ケ	11	10	5	29 死亡:10/18
コ	20	9	2	6
サ	26	21	9	5
シ	18	15	1	50 入院:10/15-10/18
ス	10	1	25	0
セ	31	29	0	92
ソ				
タ				
チ				
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	16.4	10.4	8.86	

#### 4. 運営方針

事業所の目標	(法人の理念、長期目標、月間目標など) 【利用者の獲得】1.適切な職員の確保と黒字転換 2.「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」:その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた 具体的取組	1.求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2.カンファレンス記録による情報の共有をしている 3.利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を目指している 4.研修計画の実施

#### 5. 活動報告

9月 9日(月)	安全衛生委員会・管理者会議
9月13日(金)	運営推進会議
9月19日(木)	運営会議
9月24日～27日	カフェ週間
9月30日	お誕生日会
10月7日(月)	安全衛生委員会・管理者会議 ママ保育園児来室
10月21日～25日	カフェ週間
10月23日	お誕生日会
10月31日(木)	運営会議

#### 6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	(発生日時、状況、対応を記載) 今月は無し
改善策	

#### 7. 地域への情報提供

(家族会や避難訓練、地域のイベント、ニュースの紹介など、介護サービスに関する物に限らず自由に記載)
特になし

#### 8. その他特記事項

(職員の入退職・異動等)
特になし